

看護連盟だより59号に寄せてご挨拶



栃木県看護連盟会長
坂主リツ

皆様、お変わりなく過ごされておりますか？

日々、患者様の看護や地域住民の健康の守り手としてご活躍いただいていることに感謝申し上げます。

平成29年6月15日（木）、東京にて日本看護連盟総会が開催されました。選挙対策についての協議にて、第25回参議院議員選挙候補予定者として、石田まさひろ参議院議員が満場一致で決定されました。全国の看護連盟会員の皆様が一丸となり、目標に向かってご協力頂きたくお願い申し上げます。

また、栃木県看護連盟では6月20日（火）、平成29年度通常総会が皆様のご尽力により盛会に終了致しました。

今年の事業計画の重点目標として、組織の強化・拡大を図るため、副会長の2名体制を承認頂きました。また、支部と県看護連盟の連携を強化するため支部別会議を開催し、支部との情報共有・顔の見える関係づくりをしたいと思います。各支部との貴重な意見交換が看護連盟の発展の礎になっていくものと期待しております。

今年度の事業計画を着々と進めております。今後とも看護連盟活動にご協力・ご支援を宜しくお願い致します。



日本看護連盟会長
草間朋子

真夏日が続く毎日ですが、猛暑の中、日夜、がんばっておられる看護職のみなさまに改めて敬意を表します。

平成29年度の総会を無事終え、会長さまはじめ、みなさまほっとされておられることがございます。総会では、日本看護連盟の綱領を会員のみなさま全員で声高らかに宣誓されました。2025年を目前に控え、「予防し・治し・支える医療」を担っていくのは、看護職です。看護職が、患者さんたちの信頼を得つつ、明るく、楽しく役割を果たしていくためには、看護界が一丸となって、就労環境の改善など山積する課題を解決していくなければなりません。看護政策の実現に向けて、綱領の中にある、「看護は一つ」の持つ意味をしっかりと認識していくことが、今の看護界にとって大事なことであると思っています。

去る6月15日の日本看護連盟の総会におきまして、第25回参議院選の組織内候補予定者として、石田まさひろ現参議院議員を満場一致で決定させていただきました。看護政策の実現に向けて石田議員をしっかりと応援してまいりましょう。

暑さに負けないよう体調管理をしっかりと心がけてください。



衆議院議員
あべ俊子

栃木県看護連盟の皆さま、いつもご支援をありがとうございます。

昨年末より議論を重ねてまいりました、一億総活躍社会の構築に向けた提言がまとまり、安倍晋三総理大臣と加藤勝信担当大臣へ申し入れを行いました。

あべが座長を務めました女性活躍・子育て・幼児教育PTからも様々な提案を行っています。保活や病児保育などの子育てサポートの充実はもとより、男性の家事参画の推進や介護・看護師夜勤手当拡充の検討、さらにはDV・性暴力被害対応のための議員立法を含めた党内検討を進めることなど、女性がより活躍できる社会を創っていくために早急に取り組んでいきたい提案を幅広く盛り込むことができました。

国会閉会中の現在は、できるだけ現場に足を運び皆さまと直接対話できる機会を持ちたいと努めています。今後も引き続き、様々な課題を改善・解決の方向へ動かしていくよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



参議院議員・前自民党女性局長
たかがい 恵美子

初秋の候、栃木県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平素より、国民福祉の向上と看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で、当選来一貫して社会保障制度改革の重要な任にあたさせていただくとともに、一昨年秋より女性局長を努めさせていただいております。先の参院選を経て、党所属女性国会議員数は43名となり、地方議員においても女性議員数が493名となりました。女性版ふるさと対話集会の創設と全国展開、政治女子を育てる党政治塾「プレミアム・ウイメンズクラブ」の創設・開講、女性の健康の包括的支援に関する法案成立への取り組み、女性医療職エンパワメント推進議連の創設と、着実に政策提言を進めています。これからも皆様と呼吸を合わせ、丁寧な仕事を心がけて参りますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。



参議院議員
石田 昌宏

栃木県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。

皆さまのお力で、参議院議員の重責をいただいてから四年が経過し、看護師免許保持者の届出制の新設、認知症ケア加算の新設、民間看護職紹介会社の適正化など、看護の現場をよりよくするための活動を積み上げてまいりました。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができたよかったです！」と実感できるよう全力を尽くします。

まずは、全国津々浦々を訪問させていただき、現場の声を国政に届けてまいります。皆さまの職場に参りました折は、ぜひお声をお聞かせください。



衆議院議員
木村 弥生

栃木県看護連盟の皆さま、こんにちは。

6月18日、150日間に及ぶ第193通常国会が閉会。60以上の法案が成立しました。

初当選から2年半、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

昨年3月には待機児童問題等対策特命チームの座長に就任。ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映し、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区（京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町）にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。